

輸送動向について(平成22年度 第1 - 四半期)

平成22年7月

1. 輸送概況

第1 - 四半期は、4月に北東北地区において強風による輸送障害が発生したほか、5月には山陽線における貨物列車とトラックの衝撃事故等により、高速貨94本、専貨2本が運休した(前年同期間は、高速貨26本が運休)。

荷動きについては、輸出産業をはじめとした製造業の景気回復に伴う生産拡大に加え、ゴールデンウィーク期前に需要が強勢となったこともあり、前年を上回って推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、食料工業品などが前年を下回ったものの、自動車部品、化学工業品、化学薬品、紙・パルプ、家電・情報機器などが前年を上回り、全体では前年比105.7%となった。農産品・青果物及び食料工業品は、不順な天候の影響を大きく受け、それぞれ九州地区の野菜類、清涼飲料水が減送となった。前年を上回った品目の多くは、前年の景気後退期における生産調整の反動及び輸出産業の生産回復に伴い増送となった。また、家電・情報機器はメーカーのモダルシフトの取組みにより増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石などが前年を下回ったものの、石油などが前年を上回り、全体では前年比102.1%となった。石油は、4月に気温が低めに推移したことに伴う灯油の需要の増加などにより増送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	1 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,067	4,792	105.7%
車扱	2,329	2,281	102.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	356	387	-31	92.0%
	化学工業品	499	456	43	109.4%
	化学薬品	378	339	39	111.5%
	食料工業品	821	828	-7	99.2%
	紙・パルプ	779	748	31	104.1%
	他工業品	399	345	54	115.7%
	積合せ貨物	544	561	-17	97.0%
	自動車部品	202	138	64	146.4%
	家電・情報機器	117	94	23	124.5%
	エコ関連物資	84	82	2	102.4%
	その他	889	815	74	109.1%
	コンテナ計	5,067	4,792	275	105.7%
車扱	石油	1,560	1,497	63	104.2%
	セメント・石灰石	255	264	-9	96.5%
	車両	216	227	-11	95.5%
	その他	299	293	6	102.0%
	車扱計	2,329	2,281	48	102.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)